



# ウィツキル通信

Hypochlorous Acid Aqueous Solution Water NEWS Vol.38

「ウィツキル」は株式会社 万立の登録商標です

## 洗濯物のニオイの元は雑菌！

### ウィツキルで消臭できる？

「洗濯したけど、なんだかイヤなニオイが残ってる：」「洗濯物の生乾き臭が取れない：」そんなことはありませんか？

洗濯機に洗濯物を詰め込みすぎて水量や洗剤の量が合っていないとか、何日分かまとめて洗濯しようと放置している間に汚れが繊維に染みついてしまう、洗濯機本体のお手入れができていない、など様々な原因があるでしょう。その汚れを餌にして雑菌が繁殖してしまっている、イヤなニオイを発生してしまいます。また、花粉や生活スタイル、天候などの影響で、洗濯物を満足に外に干すことができないこともあるでしょう。その場合、洗濯物が生乾きのまま時間が経過し、雑菌が繁殖しやすい環境となり「生乾き臭」が発生してしまいます。

このように洗濯物のニオイ原因の大部分は「雑菌」であり、その繁殖を抑えることがポイントになります。そこで、洗濯でも落ちない強烈なニオイを、ウィツキルで落とせないか？消臭効果を確認してみました。

## 綿のTシャツとポリエステル

### インナーをしっかりと消臭！

学生の部活動で汗をたっぷり吸収した、綿100%のTシャツ。毎回洗濯はしていますが、部活動中、長時間着たままになっていて、繊維の奥深くに汗や皮脂汚れが残っているでしょう。そのためか、洗っても洗っても「なんとなく臭い」まま。そんな臭いTシャツ

ツを使って「浸け置き」をしてみました。

洗面台に栓をして、100ppmに調整したウィツキルにTシャツを浸けて15分間放置。

その後しっかりと絞って、そのまま洗濯機へ。通常モードで洗濯した後で干す際も特にニオイはなく、乾いて取り入れた際にニオイを嗅いでみても全然臭いしません。その後、何度か着ていますが、ニオイ戻りもありません。

続いて、ストレッチが効いているポリエステル素材のゴルフのインナー。繊維の隅々まで雑菌が繁殖しているせいか、何度洗濯してもニオイが取れず、困っていました。そんなインナーを綿Tシャツと同じ要領で15分浸け置きしてから洗濯したところ、浸け置き後に干す際も嫌なニオイがせず、乾いてからもニオイがしませんでした。ポリエステルの繊維の奥まで次亜塩素酸が入り込んで除菌してくれたと考えられます。



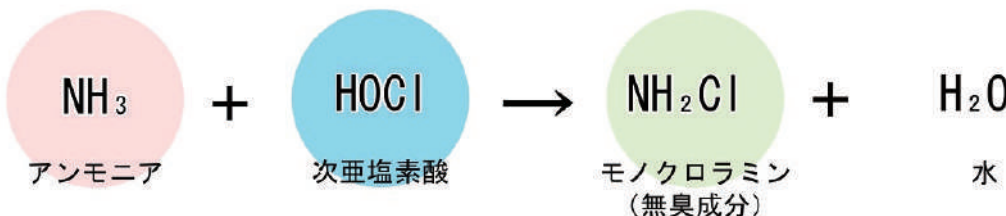
単なる実験ではありませんが、洗濯物に残ったイヤなニオイにウィツキルは効果を発揮しそうであることがわかりました。尚、こちらの実験につきましてもウィツキルサイトのコラム (<https://vikill.jp/column/sentaku/>)にも詳細を記載しております。  
※素材によっては色落ちの可能性があるので、大切な衣類には充分ご注意ください。



## ニオイの元を断つ

### 次亜塩素酸の消臭メカニズム

一般的な洗剤や消臭剤は、ニオイの上に別の香りをつけてニオイを「かくす」ものが多いです。それは悪臭の上からマスクングしているだけで、それでは根本的な悪臭の解決にはなっていません。一方で、次亜塩素酸は下のアンモニアの例のように、ニオイの元を、化学的に分解して別の物質に変化させ、ニオイの元を「なくす」ことで消臭しています。様々な菌に対して効果がある次亜塩素酸水溶液ならではの特長です。ぜひ、この次亜塩素酸水溶液の本物の消臭効果を実感していただければ幸いです。



ウィツキル通信に関するお問い合わせ、感想または取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、ご遠慮なく上記アドレスにご連絡ください。編集部一同心よりお待ちしております。